

平成26年度 第3回 桑名市子ども・子育て会議 議事録

日 時	平成26年8月21日(木) 14時～16時
場 所	くわなメディアライヴ 多目的ホール
出席委員	伊藤香、伊藤直和、稲垣陽子、大橋了子、奥田聖人、加藤隆明、小竹広行、下間賢了、高橋恵美子、津田浩二、野口典子(◎)、濱内洋孝、松岡亜由美、松岡典子(○)、松岡初文、水谷秀史、水谷美保、横山悦子、渡部美紀子(敬称略、五十音順)(◎：委員長、○：副委員長)
傍聴人数	3人
会議次第	<ol style="list-style-type: none">1. 開会2. 報告<ol style="list-style-type: none">(1) 各分科会の報告・提言(資料1-1、1-2、1-3)3. 議事<ol style="list-style-type: none">(1) 計画の骨子案について(資料2)(2) 計画に記載する「量の見込み」「確保方策」について(資料3)4. その他5. 閉会

1. 開会

(事務局)

今回所要により、本会議の委員に変更があった。中谷委員に変わり、中谷委員が所属する桑名市社会福祉協議会からの推薦により、松岡亜由美氏に委員をお願いすることとした。松岡亜由美委員には、本会議の委員をお引き受けいただいたことに感謝申し上げたい。松岡亜由美委員には、自己紹介を含めてごあいさつをお願いしたい。

(松岡亜由美委員)

皆さんこんにちは。桑名市社会福祉協議会から参りました松岡亜由美と申します。中谷委員に代わって今回から参加させていただきます。よろしくお願いいたします。

(事務局)

よろしくお願いいたします。

(野口委員長)

お暑い中ご出席いただきありがとうございます。夏休み中の子どもにとっては憂鬱な時期ではあるが、皆さんには各分科会で審議を尽くしていただきありがとうございます。今日はそれを中心にしながら計画の骨子を考えていく作業に入っていきたい。よろしくお願いいたします。

2. 報告

(1) 各分科会の報告・提言（資料1-1、1-2、1-3）

※ 資料に基づき各分科会長（水谷秀史委員、渡部委員、高橋委員）説明

(野口委員長)

ありがとうございました。各分科会長の発表に追加意見があればお願いしたい。

特にないようなので、議事に移る。

3. 議事

(1) 計画の骨子案について（資料2）

※ 資料に基づき事務局説明

(野口委員長)

今後の作業は各分科会の意見を計画にしていくことになるが、計画の名前をどうするか。子ども・子育て支援事業計画書では堅すぎるので、計画の名称をどうするかも課題の1つになる。また、計画の全体構成が示されているが、第1～3章は概ねこれでご了解いただける

と思う。ただ、いくつか修正する点等も残されているので、まだ完成形ではない。今日は、第4章計画の基本的な枠組みの基本理念についてご意見を頂戴したいと考えている。基本理念の文言や基本理念の趣旨の表現について、率直なご意見を頂戴したい。

(松岡典子委員)

基本理念の文言は3つの基本目標と比べて大きな祖語はないと思う。基本理念の趣旨はもう少しコンパクトで良い。

(渡部委員)

基本理念の文言についてはなるほどという感じ。基本理念の趣旨はもう少し具体的に掲げることができればより実現しそうだというのがうかがえるといい。

(横山委員)

基本理念にある「子育て桑名力」はすごく良い。ただ、文字が多い。「つながろうみんなのチカラ！」はなくて良い。

(水谷美保委員)

基本理念にはどこかで聞いたような文言が並んでいるだけのようと思う。もっと個性的にしてほしい。基本理念の趣旨のボリュームはこれくらいで丁度良い。

(水谷秀史委員)

基本理念の「全国に誇れる」は削除。「子育て桑名力」は「子育て桑名のチカラ」に変更。下段の～以降は小さな文字に変更。

(松岡初文委員)

基本理念等の文言について、これとって意見はない。今後の対応と実行して結果を出していくことが大事。

(松岡亜由美委員)

「子育て桑名力」はとても良いと思った。漢字が並んでいるので、平仮名も交えていくと親しみやすいと思う。

(濱内委員)

基本理念をパッと見でわかる市民は少ないと思う。基本理念の趣旨の文書をイメージ図で表現できるとわかりやすい。つながりの趣旨を基にして何をしていきたいかは箇条書きにした方がわかりやすい。

(津田委員)

基本理念の趣旨として1番大切なことは、子どもが親の愛情を感じながら育つことだと思うので、そういう文言を入れてほしい。日本人の子どもは自己肯定感が非常に低いというデ

一タが出ているが、愛情に包まれて育つことが一番大事だという趣旨を入れてほしい。

(高橋委員)

「全国に誇れる」というのは計画を実行した後についてくる評価なので、基本理念にこの文言は必要ない。基本理念の趣旨に市長のビジョンを掲載することにも疑問がある。今後どこでどうなるかわからない。趣旨の内容はもっと全般的なことを考えた方が良い。

(下間委員)

基本理念が長い。もう少し短くしてインパクトがあるようにしてほしい。基本理念の趣旨に記載されている「施設・事業所」とは具体的に何を指すのか、後で説明してほしい。

(小竹委員)

基本理念の文字が多い。2行目の文字は小さくした方が良い。「桑名力」に違和感があるので「桑名のちから」とした方が良い。桑名に全国的な注目を集めるという意気込みが感じられるが、「全国に誇れる」は削除した方が良い。

(加藤委員)

高橋委員の意見に同感です。

(奥田委員)

誇るためにやっているわけではないので「全国に誇れる」は削除した方が良い。「子育て桑名力」にも違和感がある。「桑名の子育て力」なら意味がわかるが、「桑名力」では意味が不明。この計画の理念で市長に気を使う必要はない。「つながろうみんなのチカラ！」の意味するものを趣旨にも盛り込みながらアピールした方が良い。

(大橋委員)

基本理念が長い。文字のサイズも使い分けた方が良い。基本理念の趣旨の「子育てをするなら桑名市へ」を強調するために中身を濃くして、実現できると良い。

(稲垣委員)

基本理念には、将来こうなろうと思う完成形を入れた方が良い。例えば、「安心・安全な未来をつくる」とか。

(伊藤直和委員)

なぜ「チカラ」がカタカナなのか。「つながろうみんなのチカラ！」は不必要。基本理念の趣旨にはもう少し力強さがほしい。

(伊藤香委員)

子育てをする親側のイメージが強く、子どもが自ら育っていくイメージが薄い。そういうところも入れた理念の方が良い。

(野口委員長)

ありがとうございました。事務局で案を練っているうちに、切り捨てられない文言が増えていった結果だと思う。委員の皆さんのご意見をみると、この表現ではゴーサインがもらえない。これまでの会議や分科会を通じて、委員の皆さんには、子どもが安心して育つこと、それを親が豊かに見守ること、さらにその親子を地域・社会で見守っていくというイメージが共有できていると思う。それをこの理念や趣旨で表現できているかということ。委員の皆さんの意見を聞くと、「チカラ」という単純な言葉では表現できないと思う。稲垣委員がおっしゃったように、将来この桑名がどういう地域になっていけばいいのかという将来構想を子どもの問題に置き換えて議論している。子どもが豊かに育っていくということは、おそらく桑名市が豊かな地になっていくだろうという想いを馳せて、この計画を作っている。もう1度表現を考え直していただきたい。

(事務局)

頂戴したご意見を参考に練り直したい。

(野口委員長)

委員の皆さんも良い表現を思い付いたら事務局までご連絡いただきたい。事務局には次回の会議で再度ご提案いただきたい。

(事務局)

はい。先程の下間委員のご質問についてだが、「施設・事業所」は、子育て支援や教育・保育を提供している施設・事業所とご理解いただきたい。

(野口委員長)

資料が多くて目を通すのに苦労したと思うが、3つの基本目標が既にあるので、これが基本理念や趣旨に反映されていなければおかしい。現状ではまだまだ距離があると感じている。3つの基本目標の根底にあるものを、基本理念でうまく表現してほしい。

それでは、次の議題に移る。

(2) 計画に記載する「量の見込み」「確保方策」について(資料3)

※ 資料に基づき事務局説明

(加藤委員)

資料3の9・10頁の表の備考欄に「～本市独自事業のあおぞら出前保育や子育てサロン事業～」とあるが、これは桑名市独自の事業なのか。市単独事業と理解すればいいのか。あおぞら出前保育は補助金対象事業に入っているが、位置付けが曖昧な表現だと思います。

う。あおぞら保育自体は全国で取組まれているので、独自という言い回しは適切なのか。

(事務局)

あおぞら出前保育は、次世代育成支援行動計画の中でも位置付けられており、できるだけ市民が出かけやすい場所で行う事業として位置付けている。

(加藤委員)

資料の表記が誤りであれば訂正してもらえれば良い。私としては、市の独自の事業とは認識していない。どこの自治体でも取組まれている。

(野口委員長)

市が事業にかかる費用を全面的に補填しているのかどうかという質問か。

(加藤委員)

ある意味ではそう。

(野口委員長)

「独自事業」という表現がおかしいのではないかと聞かれている。市が全面的に事業費のバックアップをしているのかどうか先程から質問されている。

(事務局)

確かにそういった独自で何か費用を保障するというものではございません。

(野口委員長)

であれば、ここは外さなければいけない。

(加藤委員)

パッと見には市民に対して「行政はこういうことをやっていますよ」となっているが、本来はすべての園でやっているわけではない。「市独自事業」という表現は当てはまらなないと感じている。

(野口委員長)

確認して修正をお願いします。「量の見込み」「確保方策」には地域設定があり、全市と旧行政区で分けられており、学童保育は中学校区で数値が出されている。また、推計児童数は総合計画が中位推計を採用することになったので、この計画においてもそれにならうこととなった。他にご質問等はないか。

(水谷秀史委員)

資料3の4頁の①②の関係についてももう少し説明してほしい。

(事務局)

※ 資料をもとに説明

(伊藤香委員)

夏休みだけ学童保育に預けたいというニーズは非常に高いが、それに対する量の見込みと確保方策は掲載されないのか。

(事務局)

夏休みの学童保育のニーズが高いことは把握しているが、この計画は桑名市の学童保育所としての位置付けになるので、夏休みだけ利用したいというニーズを直接的に表していくことはできない。

(奥田委員)

学童保育の量の見込みの備考欄に放課後子ども教室のことが記載されているが、学童保育と放課後子ども教室は違う話なので、ここに記載することではないと思う。この会議は、今後子どもを増やしていく想定で議論を尽くしているはずだが、見込量が減っていつているのに違和感がある。

(事務局)

学童保育もそうだが、ブロックごとに児童数の推計に大きな差がみられる。それらにも十分に対応していけるよう、数字に表せない個別のニーズも把握しながら進めていきたい。

(野口委員長)

数字には表れない様々なニーズがあり、そのニーズに市としてどのように対応していくかも計画に書き込めるようにしたい。

(水谷秀史委員)

光陽保育園が卒園児に限って学童保育をしていると聞いたことがあるが、その辺はどのように見込まれているのか。

(事務局)

放課後児童クラブは、県に設置届が出されたものだけを正式なものとして把握しており、光陽保育園は独自でやっているなので、この事業には最初から頭数としてカウントされていない。

(野口委員長)

まだ残っている事業がたくさんあるので、次回も引き続き検討していきたい。

今日は分科会の報告を聞き、いろいろと考えることがあったと思う。きちんと用意しなければならない基礎的なものと、+αのサービスやその方法も考えていかなければならない。計画書に記載していくイメージができてきたと思うが、時間は限られているので今後も作業を続けさせていただく。基本理念等の表現については次回に提案していただくが、委員の皆様

さんにも忌憚のないご意見を頂戴したいと思う。

4. その他

(事務局)

次回は9月29日13時から、場所はメディアライヴ2階で開催させていただく。詳細は後日改めて通知させていただく。本日はありがとうございました。

(以上)